

2023 年度

数 学 問 題

現代システム科学域〔環境社会システム学類（理・数型）、心理学類（理・数型）、
学域募集（理・数型）〕・経済学部・商学部・看護学部・生活科学部

注 意 事 項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は全部で8ページ、解答用紙は全部で4枚である。脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の各ページ所定欄に、それぞれ受験番号（最後のページは、左右2箇所）、氏名を必ず記入すること。なお、解答用紙は上部で接着してあるので、はがさず解答すること。
- 4 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- 5 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とすることがある。
- 6 解答用紙の裏面は計算等に使用してもよいが、採点はしない。
- 7 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
- 8 問題冊子は持ち帰ること。

(余 白)

第 1 問 (50点)

1 回の試行ごとに赤玉か白玉を 1 個出す機械を考える. この機械からは 1 回目の試行では赤玉か白玉がそれぞれ $\frac{1}{2}$ の確率で出るが, 2 回目以降には直前に出たものと同じ色の玉が α の確率で, 直前に出たものと異なる色の玉が $1 - \alpha$ の確率で, それぞれ出るものとする. ただし, α は $0 < \alpha < 1$ を満たす定数とする. $(n + m)$ 回目の試行を終えた時点で赤玉が n 個, 白玉が m 個出ている確率を $P_{n,m}$ とする. 次の問いに答えよ.

問 1 $P_{2,2}$ を α の式で表せ.

問 2 $P_{n,1}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を α と n の式で表せ.

問 3 $P_{4,1}$ の値が最大となる α を求めよ.

(余 白)

第 2 問 (50点)

数列 $\{a_n\}, \{b_n\}$ をそれぞれ

$$a_n = \frac{5^{2^{n-1}} - 1}{2^{n+1}}, \quad b_n = \frac{a_{n+1}}{a_n} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

により定める. ただし, $5^{2^{n-1}}$ は 5 の 2^{n-1} 乗を表す. 次の問いに答えよ.

問 1 a_1, a_2, a_3 を求めよ.

問 2 すべての自然数 n について b_n は整数であることを示せ.

問 3 すべての自然数 n について a_n は整数であることを示せ.

問 4 すべての自然数 n について a_n は奇数であることを示せ.

(余 白)

第 3 問 (50点)

座標平面上の直線

$$l_1 : y = \sqrt{3}x, \quad l_2 : y = -\sqrt{3}x, \quad l_3 : y = 0$$

を考える. 点 $P_0(\cos t_0, \sin t_0)$ ($0 \leq t_0 \leq \frac{\pi}{3}$) に対して, l_1 , 原点, l_2 , 原点, l_3 , 原点に関して対称な点を次々にとることにより, 点 P_1 から P_6 を定める. つまり, P_0 と l_1 に関して対称な点が P_1 であり, P_1 と原点に関して対称な点が P_2 であり, 以下, 同様に P_3, P_4, P_5, P_6 を定める. また, P_6 から始めて, 再び l_1 , 原点, l_2 , 原点, l_3 , 原点に関して対称な点を次々にとることにより, 点 P_7 から P_{12} を定める. つまり, P_6 と l_1 に関して対称な点が P_7 であり, P_7 と原点に関して対称な点が P_8 であり, 以下, 同様に $P_9, P_{10}, P_{11}, P_{12}$ を定める. さらに, t_i ($i = 1, 2, 3, \dots, 12$) を P_i の座標が $(\cos t_i, \sin t_i)$ ($0 \leq t_i < 2\pi$) となる実数とする. 次の問いに答えよ.

問1 $t_0 = \frac{\pi}{4}$ のとき, t_1 と t_2 を求めよ.

問2 t_6 を t_0 の式で表し, P_6 は不等式 $0 \leq y \leq \sqrt{3}x$ の表す領域の点であることを示せ.

問3 $P_0 = P_{12}$ を示せ.

(余 白)

第 4 問 (50点)

座標平面上で、原点 O と点 $A(1, 3)$ を結ぶ線分 OA を考える. 与えられた点 P に対し、 P と線分 OA の距離を $d(P)$ とおく. すなわち $d(P)$ は、点 Q が線分 OA 上を動くときの線分 PQ の長さの最小値である. 次の問いに答えよ.

問1 点 P の座標が $(5, 2)$ のとき、 $d(P)$ の値を求めよ.

問2 点 P の座標が (a, b) のとき、 $d(P)$ を a, b の式で表せ.

問3 放物線 $y = x^2$ 上にあり、 $d(P) = \sqrt{10}$ を満たす点 P の x 座標をすべて求めよ.